

輸送動向について（平成23年度第1－四半期）

平成23年7月

1. 輸送概況

第1－四半期は、3月11日に発生した東日本大震災により東北線及び常磐線が不通となり、4月21日に東北線が運転再開するまでの間、日本海縦貫線を経由した迂回列車の運転、トラック及び船舶を活用した広範囲に亘る代行輸送を実施し、輸送力確保に努めた。しかし、津波により大きな被害を受けた常磐線は、福島第一原子力発電所の事故により被災状況の確認が進まず、現在も復旧の目処はたっていない。この震災に伴う列車運休は高速貨1,767本、専貨128本となった。なお、その他各地の大雨による輸送障害もあり、第1－四半期全体では高速貨1,885本、専貨138本が運休した（前年同期間は、高速貨94本、専貨2本が運休）。

荷動きについては、震災に伴う線路の寸断に加え、製造業各社の被災に伴う操業停止及び部品のサプライチェーンの寸断による生産低迷の影響もあり大きく減送となった。

コンテナ貨物は、東北地方の生産拠点の多くが被災した紙・パルプをはじめ、食料工業品、自動車部品などすべての品目が前年を下回り、全体では前年比88.5%となった。

車扱貨物は、セメント・石灰石が前年を上回ったものの、石油等が前年を大きく下回り、全体では前年比87.9%となった。石油は製油所の被災及び線路の不通に加え、燃料の価格高騰に伴う需要減が重なり大幅に減送となった。なお、日本海縦貫線や磐越西線を経由した被災地向けの臨時石油列車（3/18～4/19）は、現在も開通した東北線を利用して運行を継続している。また、セメント・石灰石はセメントが前年の定期修理に伴う出荷停止の反動で増送となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別	1－四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	4,482	5,067	88.5%
車扱	2,046	2,328	87.9%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

種別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	322	356	-34	90.4%
	化学工業品	454	499	-45	91.0%
	化学薬品	350	378	-28	92.6%
	食料工業品	764	821	-57	93.1%
	紙・パルプ	574	779	-205	73.7%
	他工業品	333	399	-66	83.5%
	積合せ貨物	498	544	-46	91.5%
	自動車部品	152	202	-50	75.2%
	家電・情報機器	111	117	-6	94.9%
	エコ関連物資	81	84	-3	96.4%
	その他	843	889	-46	94.8%
	コンテナ計	4,482	5,067	-585	88.5%
車扱	石油	1,369	1,560	-191	87.7%
	セメント・石灰石	288	257	31	111.8%
	車両	183	232	-49	78.7%
	その他	208	279	-71	74.6%
	車扱計	2,046	2,328	-282	87.9%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）